

虚血性心不全

有森信二

とまどいがちに鳴った 東京の子供の上司からの電話

コロナは なんとかピンチ脱出

しつこかった喉の痛みもずいぶん和らいだ

土日返上で決算終了

仕事も任されるようになったし

本腰入れて頑張るよ

最近 すごくオーラの綺麗な人を見付けたんだ

ほんの五日前に そうおどけていた子供が

仕事に出てこないんです

無断欠勤をしたことは一度もありません

至急の連絡に 三日間も応答がないのです

アパートの鍵を開けるため

身内の方から 大家に話していただけませんか

やたら何人もが 鍵を開けてくれと言う
となると これは 警察に立ち入りを頼むしかない
大家のことばには 憤懣の苦虫が百匹

やにわに ぼくの頭の芯の蝸牛が角を出した
神経の細糸からなる蝸牛が 震える足を伸ばし
天井を掴むかに立ち上がろうとした
前後左右にたたらを踏み
沈降や上昇の 定まらない動きを繰り返す

くすぶり始めた煙霧に包み込まれ
肩で息する ぼくの蝸牛よ

お前は どうして 遮二無二
へたれ腰のままに 走り出そうとするのか

ぼくはもう 髪も眉もかぼそい老人で
歩くのさえおぼつかないということ
万も承知のくせに

ともかくいまのぼくは 子供のところへ
東京行きの 終便のチケツトを筆り取ってでも
辿り着かねばならないのだよ

無明

生キタイ
石ニカジリツイテデモ生キタイ
死ヌコトハ
宇宙ノ藻屑ト消エサルコトダ
後ニモ先ニモ無限永遠ニ
僕トイウモノガ無クナツテシマウノダ
肉体ハ消エテモ
魂魄ハ残ルト誰カ言ツタ
波ノヨウナ
光ノヨウナ蠢クモノトナツテ
花ノ咲イテイル
水ノ流レテイル岸辺ヲ
フワリフワリ漂ウノダトイウ
ダトシテモ
魂魄ガ死ナヌトハ誰モイワナイ

デア
ルノ
ニ
僕
ガ
幼
イ
ト
キ

突
然
僕
ノ
前
カ
ラ
宇
宙
ガ
消
エ
タ

赤
々
ト
輝
イ
テ
イ
タ
星
ガ
太
陽
ガ
地
面
ガ

イ
キ
ナ
リ
消
エ
テ
シ
マ
ツ
タ

風
ガ
消
エ
タ

光
ガ
時
間
ガ
消
エ
タ

万
有
引
力
ガ
消
エ
タ

広
大
無
辺
ダ
ト
イ
ウ
宇
宙
ガ

ア
ッ
ケ
ラ
カ
ン
ト
消
エ
タ

ナ
イ
ナ
イ

石
コ
ロ
モ
ナ
イ

神
モ
仏
モ
見
エ
ナ
イ
聞
コ
エ
ナ
イ

コ
ト
バ
モ
消
エ
タ

生
モ
苦
シ
イ

老
モ
苦
シ
イ

病
モ
苦
シ
イ
ト
ヒ
ト
ハ
イ
ウ

シ
カ
ラ
バ
死
ハ
ド
ウ
ダ

生
キ
タ
イ

破
レ
果
テ
テ
デ
モ

這イツクバツテデモ
生キテイタイト思ウコトハ
薄汚レタ妄執デシカナイノカ

砂ガコボレル
両手ノ指ノ間カラ

砂ガザラザラトコボレル

生キタイ

生キテイタイトイウ

思イガ必死ニナレバ

必死ニナルホド

ボロボロト石ガコボレル

風モ消エタ

光モ時間モ消エタ

妄執モ消エタ

万有引力モ消エタ

広大無辺ダトイウ宇宙モ

アツケラカント消エタ

ナニモナイ

神モ仏モ見エナイ聞コエナイ

コトバモナイ

雪のある風景

うしろむきのけしきはいまじぞこからりんなりはじめ
 たすなごけいのかつぼうをしたなめずりをしながらひだり
 へひだりへきゆうせんかいするぐらいだあのかなかでいっぴ
 きのうまがすでにごむのようなせくすをぼつきさせておれ
 ではないおれではないとくろいまふらあのぜんがくれんが
 こつばんをさがしてゐるあいだにやまのてはひにつつまれ
 てしまったやけおちるのほあるぷすではないすいぎんをの
 まないしやちようではないぞぬうどすたいおのおんたち
 はおるがすむすをしらないしろいえきたいをかかえこんだ
 しきゆうはいままんしよんでくらししているからこつばんは
 そんなびるのたにまやきゆうこうれつしゃのなかにはおち
 てないぞさいれんがなつてもはんしようがなつてもげいじ
 ゆつかちはぼすたあのかなかでわらいだしたらとまらない
 のでうまをえがくことをやめてしまつたひにつつまれるの
 はむすたんぐではないばあるやぎろちんではないぞきいろ
 いまふらあきゆうこうれつしゃやぬうどすたいおはやみ
 にほうむりさきゆうこうれつしゃやぬうどすたいおはやみ
 ちはぼすたあのかなかでしろいおなにぎからげいじゆつかた